

2 身近な景観づくりのヒント

身近に取り組める景観づくりの対象は、自宅のまわりや、日々の生活・活動をしている環境の様々な場所に広がっています。

テーマ別に紹介しているヒントや写真をもとに、「身近な景観づくり」に取り組んでみましょう。

テーマ6

→15ページ

周辺の街並みや自然に調和しよう

テーマ5

→13ページ

夜もステキな街並みにしよう

テーマ1

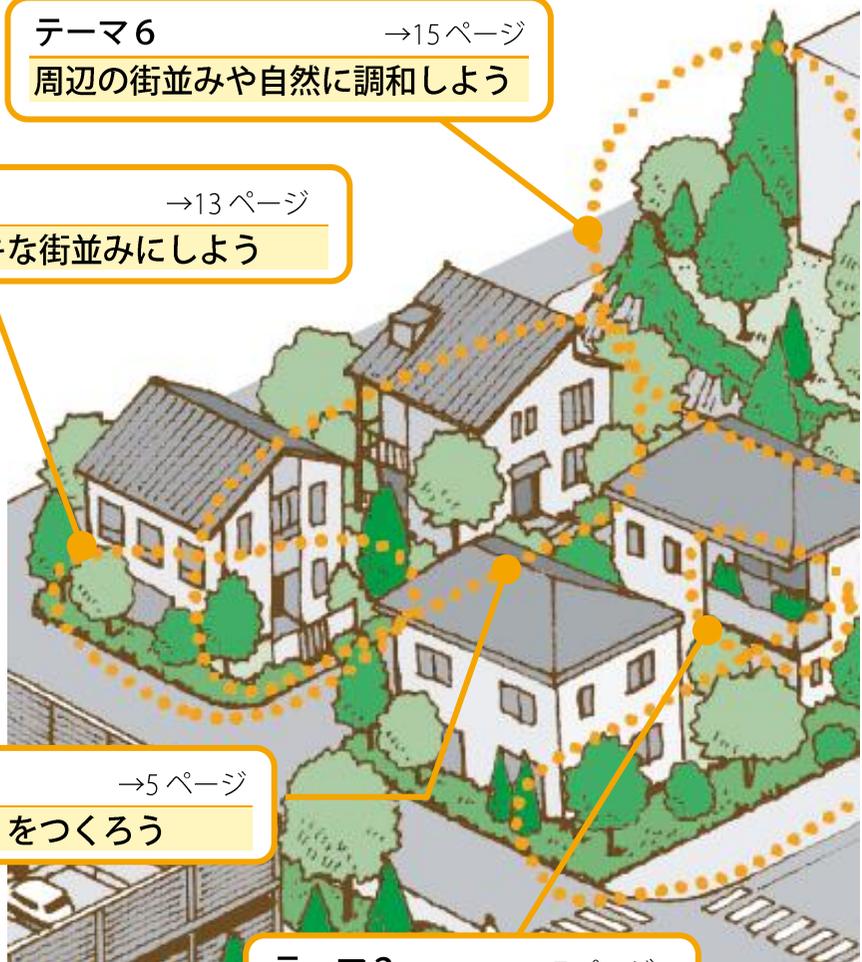
→5ページ

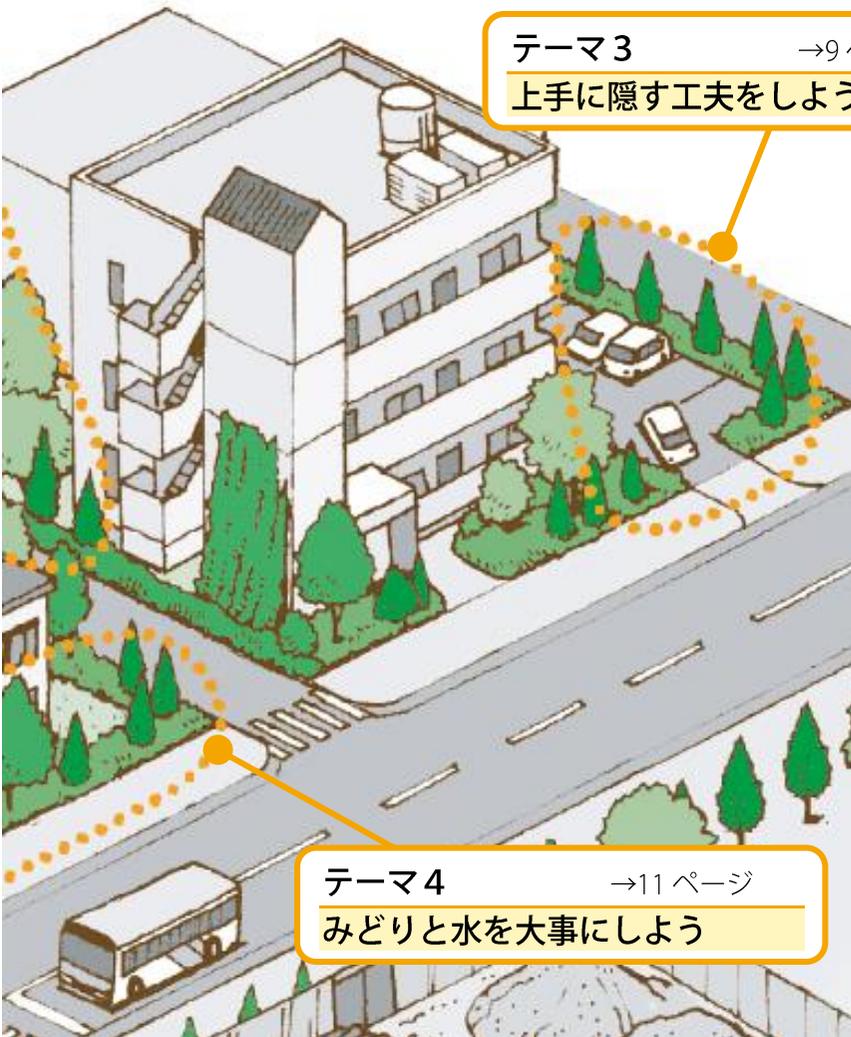
家の「顔」をつくろう

テーマ2

→7ページ

ちょっとひと工夫しよう

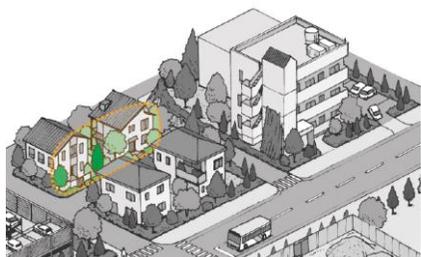




テーマ3 →9 ページ
上手に隠す工夫をしよう

テーマ4 →11 ページ
みどりと水を大事にしよう

家の「顔」をつくろう



配慮するポイント

- 家の正面
- 玄関までのアプローチ
- 敷地まわりの垣・柵・塀
- 手入れ



①印象の良い「顔」をつくる

- 家の前に花や木を植えたり、花壇やプランターをしつらえてみよう
- 塀や柵を生垣や植栽にして、開放的な印象にしよう



②おもてなしの門構えをつくる

- 門構えやアプローチには、思い切って植栽でアーチをつくってみたり、デザインを変え、おもてなしの工夫をほどこそう



③通る人を楽しませる工夫をする

- 家の前の空間は、道を通る人から最もよく見える場所です
- 通りを通る人が街並みを楽しめるよう、鉢植えや季節の飾りをしつらえるなど、変化をつけてみよう
- 駐車場に芝生を取り入れると、表情のある空間になります

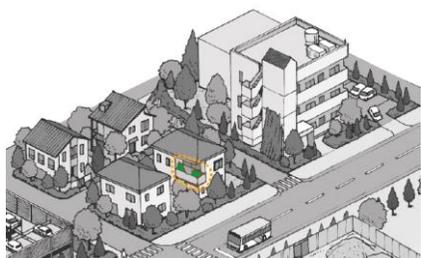


④こまめな手入れをする

- しつらえたまま放っておくと汚れや枯葉が発生します
- 日々の手入れや掃除を心がけ、綺麗な状態を保とう
- 特別なしつらえがなくても、手入れが行き届いているだけでステキな印象になります



ちょっとひと工夫しよう



配慮するポイント

- 家のまわりの小さなスペース
- 植栽や樹木の形、種類、配置
- バルコニーの活用

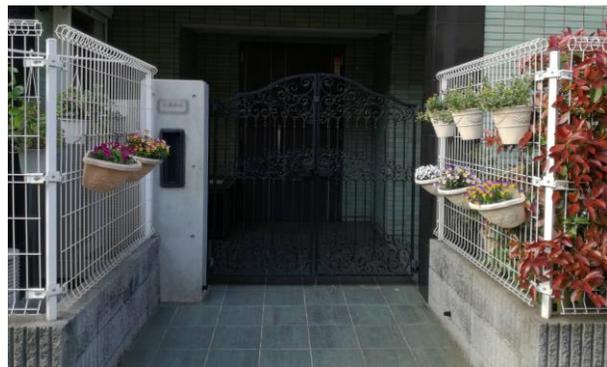
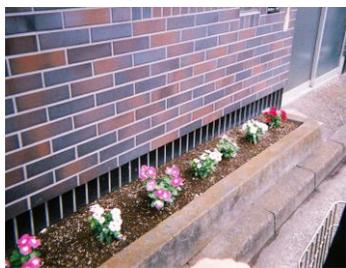
①小さなスペースを活用する

□忘れられがちな小さなスペースを活用しよう

▶門柱の下、敷地の角、フェンス、階段

□スペースが小さい分、手軽に手入れやリニューアルがしやすいです

▶ミニ花壇、季節の飾り付け



②魅力的な街かどを演出する

□シンボルとなる樹木や植栽を配置してみよう

▶敷地の角、突き当りの敷地、玄関周り

□シンボルツリーは、宅地の特徴や個性を引き立てます



③バルコニーも活用する

□限られた空間を活用したバルコニーガーデンを演出しよう

□段違いになった専用のスタンドに鉢植えを置くとミニ花壇になります

▶日当たり、風の通り具合・水はけ、強風等で落下しない安全な場所を選ぶ

[バルコニーガーデンを演出する際の注意]

□隣の部屋や階下への配慮と安全性を重視して演出しよう

□ベランダは非常時の避難ルートに指定されている場合があります
ベランダを使用する際の条件を確認したうえで有効活用しよう



□ベランダやバルコニーの物干しや洗濯ものが見えると、乱雑な印象を与えてしまいます

□通りから見えないよう工夫しよう

▶手すりの位置・高さ、干し方

